

南国市の環境をどう思しますか？

市は、現在「南国市環境基本計画」を策定しています。この計画は、わたしたちの日常生活や事業活動による環境への負荷を減らし、子どもや孫たちに健全で快適な環境を引き継ぐために、みんなで協力して取り組むことの方針を定めるものです。

まずは、皆さんが日ごろ南国市の環境をどのように感じているか、環境を守るために取り組みがどのようにされているか、今後どのような取り組みが必要か、などについてアンケート調査を実施しました。



■まちのイメージ 「緑が多いまち」	■こどもと大人の環境意識
こども、大人ともに第1位 は、「緑が多いまち」でした。 こどもは「親切な人が多く、 住みやすい」、大人は「歴史は あるが、活気に欠ける」とい うイメージを持つており、こ どもと大人に多少違いが見ら れます。こどもたちにとつて、 地域の人とのつながりが、住 みやすいまちというイメージ につながっているのでしょうか。 よいイメージが上位を占 めており、悪いイメージは第 7位の「きたないまち」(10.9%) が最も多いという結果でした。 一方、大人にとつては「緑 が多いまち」と同じだけ、「歴 史があるまち」というイメー ジが強いようです。	こども、大人ともに第1位 は、「緑が多いまち」でした。 こどもは「親切な人が多く、 住みやすい」、大人は「歴史は あるが、活気に欠ける」とい うイメージを持つおり、こ どもと大人に多少違いが見ら れます。こどもたちにとつて、 地域の人とのつながりが、住 みやすいまちというイメージ につながっているのでしょうか。 よいイメージが上位を占 めており、悪いイメージは第 7位の「きたないまち」(10.9%) が最も多いという結果でした。 一方、大人にとつては「緑 が多いまち」と同じだけ、「歴 史があるまち」というイメー ジが強いようです。

南国市環境基本計画策定に向けて！

調査票配布数・回収率

■調査票配布数・回収状況

	配布数	回収数	回収率(%)
こども	473	469	99.2
大人	1,300	366	28.2
事業所	200	95	47.5

■アンケート調査対象

こども…市内全小学校6年生

大人…無作為抽出

事業所…大企業および無作為抽出

■まちのイメージ「緑が多いまち」

(イメージにふさわしいと思う言葉を18の選択肢から3つ選択)

	こども	
	項目	比率(%)
第1位	緑が多いまち	61.0
第2位	親切な人が多いまち	35.6
第3位	住みやすいまち	32.6
第4位	川や海に親しみやすいまち	30.3
第5位	歴史があるまち	29.6

	大人	
	項目	比率(%)
第1位	緑が多いまち	32.8
第2位	歴史があるまち	27.0
第3位	活気がないまち	24.9
第4位	静かでのどかなまち	24.0
第5位	住みやすいまち	24.0



市の環境に対するアンケート結果

■環境の満足度・不満足度

(12項目について満足～不満まで5段階で評価)

★満足度の高い項目（満足・やや満足）

	こども		大人	
	項目	比率(%)	項目	比率(%)
第1位	田畠や森・林などの自然の多さ	70.1	空気のきれいさ	66.1
第2位	空気のきれいさ	63.3	田畠や森・林などの自然の多さ	55.2
第3位	昆虫・鳥などの生き物の多さ	62.0	くさいニオイの少なさ	49.5

■環境の満足度・不満足度

(12項目について満足～不満まで5段階で評価)

★不満度の高い項目（不満・やや不満）

	こども		大人	
	項目	比率(%)	項目	比率(%)
第1位	ポイ捨て・犬のフンなどの始末のマナー	70.1	ポイ捨て・犬のフンなどの始末のマナー	63.1
第2位	川や海の水のきれいさ	63.3	道路（歩道）の通りやすさ	51.6
第3位	道路（歩道）の通りやすさ 建物や看板など町の風景の美しさ	24.5	公園や広場の配置	48.1

一方、「ポイ捨て・犬のフンの始末のマナー」の悪さに対する不満度は、こども70.1%、大人63.1%となり高く、こども・大人どちらも「都市のアメニティ（生活の快適さ）の不足」を、こどもたちは「川や海の汚れ」を不満に思っています。一人ひとりのマナーの向上、都市としての質の向上が課題といえます。

こどもたちも大人も「自然の多さ」や「空気のきれいさ」などに満足しており、「緑が多く静かでのどかな住みやすいまち」というイメージと重なります。

自然、まちの美しさや快適さなどについて、こどもたちは満足度が高く、大人は満足度と不満度がほぼ同程度でした。

「自然が多く公害が少ないのは良いが、ポイ捨て・犬のフンに対しても・犬のフンに対して・犬のフンに対する不満」

■環境の満足度・不満足度

「自然が多く公害が少ないのは良いが、ポイ捨て・犬のフンなど始末のマナーに対する不満」

こどもたちが身近な遊び場として最も多く挙げたのが「学校のグラウンド」でした。このほか、「公園・広場」「家の庭」などが多く、「田畠や森・林などの多さ」に対する満足度が高い割には、これらの場所を遊び場とすることも少ないようです。

よく遊ぶ場所としては、「家中」が60.1%と最も多く、自然に近い遊び場はあまり利用されていないようで、全てをあわせて22.3%に過ぎませんでした。こどもたちは、日ごろ自然に親しむ遊びをしていないようです。

やりたい遊びについては、「キャンプ」「川での遊び」「魚つり」が上位3項目でした。こどもたちの不満度が高かった「川や海の水のきれいさ」は、「川や海で遊びたいが、汚くて遊ぶことができない」ということの現れでしょうか。

■こどもたちの自然とのふれあい

■こどもたちの自然とのふれあい

	身近な遊び場（いくつでも）		よく遊ぶ場所（複数回答）		やりたい遊び（いくつでも）	
	項目	比率(%)	項目	比率(%)	項目	比率(%)
第1位	学校のグラウンド	40.7	自分の友達や家の中	60.1	キャンプ	61.6
第2位	公園・広場	36.0	自分の友達や家の庭	22.2	川での遊び	59.7
第3位	自分の友達や家の庭	25.8	公園・広場	15.1	魚つり	47.5

